

## 道路改良で住民の安全 安心な生活を守ろう!

新政たかやま

西田 稔



**問** 江名子町側で松之木千島線と交差する県道岩井高山停車場線がある。現在の幅員は狭く松之木千島線の整備に併せた改良を行うと伺っているが、現在の状況はどのようになっているのか。

**答** 現在の県道は、交通量に対して幅員が狭く、車両の通行や安全性に課題があることから、右折車線の設置や一部区間の拡幅整備が必要と考えており、管理者の高山土木事務所と施工区分を含め整備に向けた協議を進めている。県道の整備については、令和9～10年度に予定する、松之木千島線の江名子町側の工事時期に合わせて実施できるように調整していく。



県道岩井高山停車場線

## 自然災害への対応につ いて

新政たかやま

沼津 光夫



**問** 能登半島地震では、水道施設で多くの被災があり復旧に時間がかかっている。災害時には早急に地域住民に配水することが重要だと考えるが、市の給水施設や消火栓から給水することはできないか。

**答** 市では災害時の飲料水の供給について高山市地域防災計画の中で給水計画として定めており、給水可能な施設が27施設ある。その内、10箇所の施設を緊急時給水拠点に位置づけ、緊急給水栓のほか飲料用ホース、給水ポンプ、発電機等給水に必要な備品の整備を行い、災害時に水道管が被災し断水となった場合でも迅速に飲料水を供給することが可能となっている。また、消火栓からの給水については、被災状況によるが、給水栓を設置することで飲料水の供給が可能となっている。

## 飛騨牛乳を生産する市内 酪農家への支援について

みんなで未来をつくる会

丸山 純平



**問** 全国的に酪農家の経営は大変厳しい状況であり、廃業・離農が相次ぐなど「酪農危機」が叫ばれている。市は酪農家への支援に関してどう考えているのか。

**答** 令和4・5年度において、国や県の支援がない粗飼料に対する価格補填や、自給飼料の生産拡大への助成等を実施して畜産農家の負担軽減に努めている。令和6年度の予算においては、新たに優良乳用牛保留導入に対する支援拡充を盛り込んでいる。今後も国や県へ支援の要望を働きかけながら、市内酪農家等の意見を聞き、市としてできる対策を考えていく。

## 高校生の不登校、退学者 への支援について

みんなで未来をつくる会

益田 大輔



**問** コロナ禍もあり、高校で不登校となり、退学する生徒も増えている。その後の社会との関わりが途絶え、孤立、ひきこもりに至るケースも懸念される。人生100年時代、これから長い人生を送る子どもたちに、居場所とともに、もっと積極的な支援を考えるべきではないか。

**答** 学校から離れ、社会とのつながりが少ない子どもたちがいると承知している。ひきこもり対策の観点からも丁寧に声を聴き、必要な支援が届くように取り組んでいきたい。